

台東育英

VOL. 20 台東区立台東育英小学校

No. 11 校長 瀬下 清

<http://www.taitocity.net/taidoukuei-s/>

一年間の教育活動を終えて

校長 瀬下 清

校庭にある梅の木のつぼみが大きく膨らんできています。今年も厳しい冬の寒さに耐えながら、静かに、花を咲かせる準備をしています。春がもうそこまで来ています。一年間の教育活動も最後の月となりました。

コロナ禍となり、2年目が過ぎようとしております。この状況がここまで続くとは誰が予想したでしょうか。感染拡大状況を鑑み、学校における新しい生活様式を日々変化させながら、一年間の教育活動を進めてまいりました。保護者や地域の皆さんをはじめ、本校を支えてくださった皆様に心から感謝を申し上げる次第です。

さて、iPS細胞の研究・開発でノーベル生理学・医学賞を受賞したことで知られる山中伸弥教授と、小児脳科学者の成田奈緒子先生が、「子育て」について語り合う対談集を読みました。神戸大学医学部で同級生だった山中教授と成田先生は、お二人とも幼少期から順風満帆な人生ではなかったことも分かり、とても興味深く感じました。親子関係の悩み、思春期に感じた生きづらさ、社会人として味わった挫折、そして、数多くの出会いなど、その分野における一流の方々の価値観が形成されていくようすが分かりました。

中でも、日米の研究者の違いについて、触れている箇所がとても参考になりました。日本人の研究者は、一日中、自分のデスク（持ち場）から離れず、自分の研究だけ没頭し、まるで、他の研究には興味がないような様子です。反対に、アメリカの研究者は、自分のデスクから離れ、自由に議論し合い、「あれなんだろう」「こうしたらどうかな」など、頻繁にコミュニケーションを図っているそうです。そして、お互いを「よくやった」「あなた、すごいね」など、称えあうそうです。「Thank you for everyone」「All of you」「あなたのおかげです」と、名指しで感謝を口にするそうです。

こうしたお二人の経験や専門分野の立場から、子供たちが、どんな逆境にも負けない「しぶとい人間」として育っていくために大事なことは、「感謝できる人間」に育てることだと結論づけていました。

本年度も、元気に学校生活を送ることができたのも、ご家族、そして、地域の方々、クラスの友達や先輩、そして、教職員のお陰であることに感謝できる子供たち一人一人に育てていきたいと思えます。つらいできごとや困難なことをしなやかに対応できる力とは、台東育英小学校が、すべての教育活動で育てている「生きる力」そのものです。本年度の教育活動が、子供たちの「生きる力」の土台となっていることを信じております。

最後になりますが、令和3年度も、本校の教育活動に対しまして、保護者や地域の皆様の温かい支えがあり、ここまで無事に学校運営を進めてくることができました。心から感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

令和4年度の行事予定について

副校長 原 之雄

令和4年度の行事予定が決まってきましたので、主なものをお知らせいたします。

1学期 始業式・入学式4/6(水) 離任式 5/6(金) 終業式7/20(水)
霧ヶ峰移動教室6/6(月)～6/8(水) *2泊3日

夏季休業中 日光林間学園8/20(土)～8/22(月) *2泊3日
常総移動教室8/29(月)～8/30(火) *1泊2日

2学期 始業式9/1(木) 運動会10/1(土)
終業式12/23(金)

3学期 始業式1/10(火) マラソン大会1/21(土)
卒業式3/23(木) 修了式3/24(金)

<土曜授業日>

1学期 6/18 7/2

2学期 9/3、10/1(運動会)、11/19(音楽会)、12/17

3学期 1/21(マラソン大会)、3/4

*新型コロナウイルス感染症対策等、今後の状況によって行事予定に変更が生じる可能性があります。ご承知おきください。

金管バンド1年間の活動・定期演奏会

金管バンド担当 阿部 裕介

台東育英小学校金管バンドは、現在4年生15名、5年生9名、6年生12名、総勢36名で活動しています。今年度も新型コロナウイルス感染防止の影響で、数々の制限の下での活動となりました。しかし、夏のコンクールでは部員一人一人が団結し、100%の力を発揮したことで、金賞・銀賞という輝かしい成績を修めることができました。それに加え、体育発表会での演奏やお披露目会、周年の動画撮影を通し、演奏を聴いていただく中で、一歩ずつバンドとしての力を付けることができました。

振り返れば、4年生は1学期始めには、上手に音を出すことも難しい様子でしたが、毎日基礎練習を積み重ねることで、様々な曲を演奏できるようになりました。5年生は後輩に一つ一つ優しく丁寧に教えることで、先輩としての自覚や、昨年度よりも更なる演奏力の向上がみられた実りある年になりました。6年生は、これまでの活動の集大成として部員をリードし、勇気付けながらバンドを支えてくれました。その姿は、最上級生として実に頼もしい存在となっています。そんな素晴らしい仲間と培った時間をこれからの人生にも生かしてほしいと願います。

さて、今年度も世話人・保護者の皆様をはじめ、多くの方々のご協力のもと、限られた方のみの観覧となりますが、感染対策をしながら第21回定期演奏会を開催することとなりました。少ない練習時間の中で、仲間と協力し目標に向かって心一つにすること、精一杯努力し美しい音楽を作り上げること、そして、36名全員が輝く定期演奏会になるよう邁進してまいります。最後に、今年度ご尽力いただきました保護者や地域の皆様には厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

お別れスポーツ大会・6年生を送る会に向けて

5年担任 鈴木 祐衣子

今まで最高学年として学校を引っ張ってきた6年生に、感謝の気持ちを伝えるときがやってきました。今年度は、全校で集まる機会は少なかったですが、これまで学校のために努力してくれた6年生へ思いを伝えられるよう、5年生はこれまで、縦割り班のメッセージカード作りや、6年生を送る会、お別れスポーツ大会に向け、全員で協力して準備を進めてきました。

3月1日に行われるお別れスポーツ大会では、5年生の進行により、6年生とビーチボールバレーの試合をします。6年生に楽しんでもらい、一緒によい思い出をつくるために、チーム編成や招待状作り、大会の進行や当日の審判、得点などの全てを担います。

このような会の企画や運営を5年生が受けもつことは、在校生の代表として6年生へ感謝の気持ちを伝えるとともに、次年度、最高学年になるための準備にもつながっています。

3月11日に行われる6年生を送る会では、お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えよう、6年生の思い出に残る会にしようという気持ちで取り組んでいます。1～4年生もプレゼントやアーチ作り、出し物の練習をしています。今年度はteamsも使いながら、工夫して実施する予定です。全校の気持ちが一つになったすてきな会にできるよう頑張ります。

今の5年生がどんな6年生に成長するのか、今から楽しみです。

クラブ活動紹介・クラブ見学について

特別活動主任 高橋 芳絵

クラブ活動とは、学年や学級の所属を離れ、共通の趣味・関心をもつ異学年の仲間と協力して、生活がより楽しく豊かになるように、自主的に計画したり、実行したりする活動です。

クラブ見学とは、3・4・5年生がクラブの時間に活動の様子を見学するもので、それをもとに次年度のクラブの希望を考えます。活動を見せる高学年にとっても、成果を発表したり、見てもらうことで励みとしたり、1年間のまとめとしたりすることができるよさがあります。

しかし、今年度はコロナウイルス感染拡大に伴い、感染予防の観点から、クラブ活動の様子を撮影した動画の視聴を教室で行ったり、それぞれのクラブの活動内容について、委員長が書いた説明文を読んだりし、理解を深めました。

3年生は初めてのクラブ活動です。ワクワク、ドキドキ、目を輝かせながら先輩達の活動に期待しています。4・5年生も今年度と同じクラブを続けたいと思う子、新しいクラブに入りたいと思っている子など、活動を楽しみにしています。

今年度は、屋外スポーツ、屋内スポーツ、ビーチボールバレー、卓球、図工、パソコン、室内遊び、手芸の8つのクラブで活動しました。6年生を中心にみんなで協力して楽しい活動を行うことができました。来年度のクラブ活動も楽しみです。

